

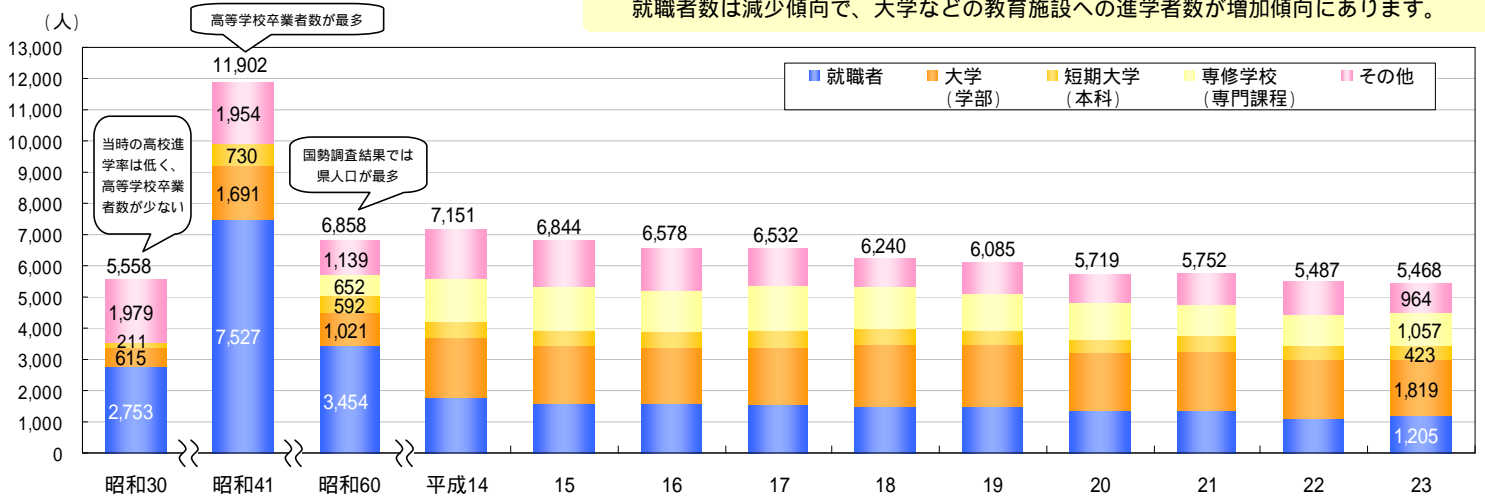
学校基本調査でみる鳥取県

鳥取県における高等学校卒業後の進路状況

学校基本調査は、幼稚園から大学まで全国全ての学校を対象に、学校数・在学者数・卒業者数・就職者数・進学者数等の調査を毎年実施しています。調査結果は、教育問題を解決する基礎資料として利用されるだけでなく、推移を追うことによって、将来教育計画を立てる際の貴重な資料として活用されています。

卒業後の進路状況の推移

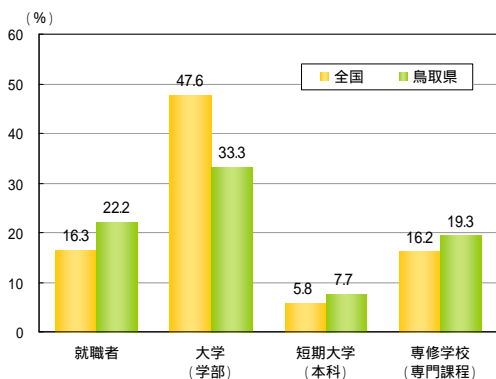
就職者数は減少傾向で、大学などの教育施設への進学者数が増加傾向にあります。



注 1) 進学者には就職しつつ進学している者を含む 2) 昭和30・41年の区分は大学、短期大学 3) 昭和60年の区分は専修学校

卒業後の進路別割合

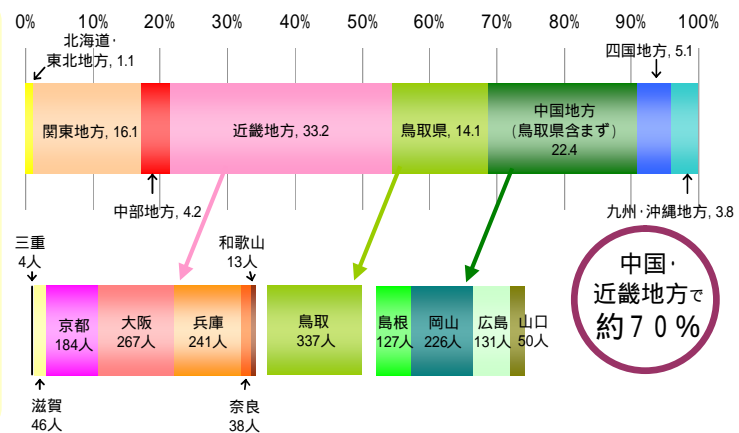
平成23年3月卒業者



全国と比べ、鳥取県は就職率が高く、進学率で見ると、大学(学部)は低く、短期大学(本科)・専修学校(専門課程)は高いことがわかります。大学(学部)への地域別入学状況では、近畿・中国地方への進学が約7割を占めており、県内を除くと、大阪府への進学者が最も多く、次いで兵庫県、岡山県の順となっています。

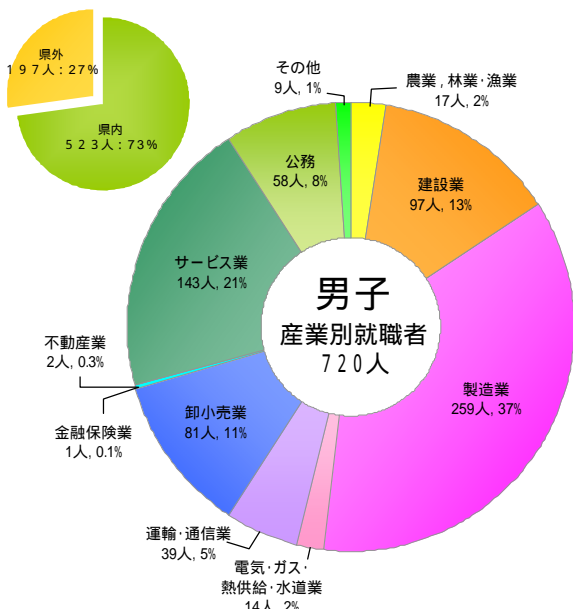
大学(学部)への地域別入学状況

平成23年度入学者



中国・近畿地方で約70%

卒業後の産業別就職者及び割合



産業別の就職状況を見ると、一番多かったのは、男子では「製造業」、女子では「サービス業」でした。2番目以降は、男子では「サービス業」、「建設業」、「卸小売業」となり、女子では「製造業」、「卸小売業」、「運輸・通信業」となっています。また、地域別で見ると、男子の27%、女子の19%が県外で就職し、男子の県外就職者の割合が高くなりました。

